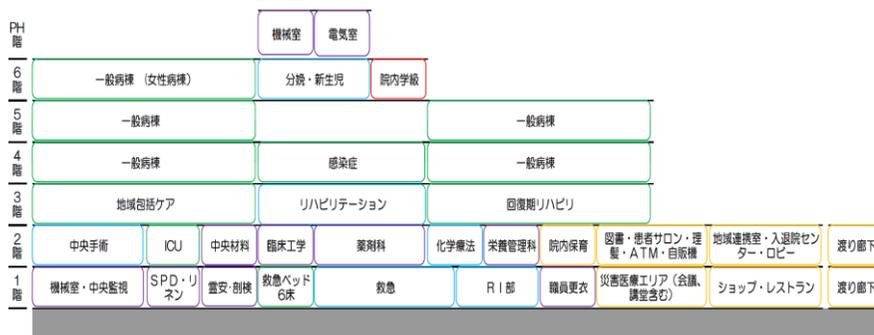
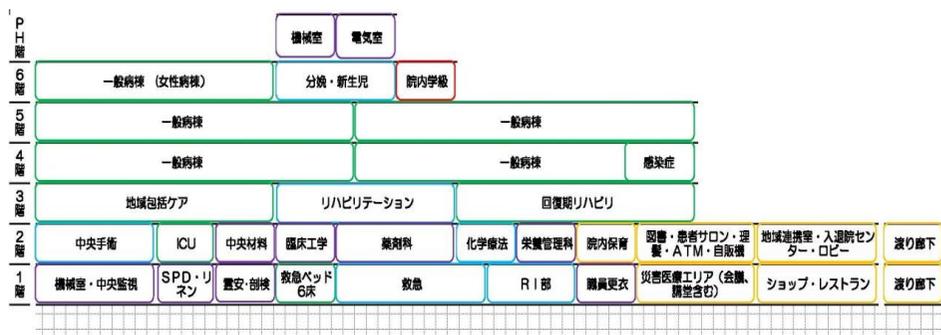


修正一覧表

- これまで策定委員会での顧問、委員各位からの質問、提案を受けて修正し、承認を頂いた部分を中心にまとめました。
- 左欄は、これまでに配布した修正前のもので、右欄は、修正後のものです。
- 『頁』欄は、資料①むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画とりまとめ案のページを表しています。

頁	修正前	修正案
1	<p>1. 新病棟建設に向けてのコンセプト（大きな柱）</p> <p>『むつ下北地域の医療提供体制の現状と課題整理』『関連計画』『住民意識調査』を踏まえ、新病棟建設に向けての基本的なコンセプト（大きな柱）は以下の6点とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療環境の変化を見据えた機能の向上 2. 大災害（自然災害、原子力災害、新興感染症等）対応拠点としての整備 3. 高度先進医療、がん治療の推進 4. 高齢者医療、予防医療、患者・家族支援の推進 5. 患者・職員満足度の高い環境の整備 6. 金谷公園との一体的な機能の整備 	<p>1. 新病棟建設に向けてのテーマとコンセプト（大きな柱）</p> <p>『むつ下北地域の医療提供体制の現状と課題整理』『関連計画』『住民意識調査』を踏まえ、新病棟建設に向けての基本的なテーマを『えがお つながる 医療の拠点』とし、コンセプト（大きな柱）は以下の6点とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療環境の変化を見据えた機能の向上 2. 大災害（自然災害、原子力災害、新興感染症等）対応拠点としての整備 3. 高度先進医療、がん治療の推進 4. 高齢者医療、予防医療、患者・家族支援の推進 5. 患者・職員満足度の高い環境の整備 6. 金谷公園との一体的な機能の整備 <p style="text-align: center;">テーマ</p> <div data-bbox="1137 874 2101 1460" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> </div>

修正一覧表

頁	修正前	→	修正案																																																																																
31	<p>1. 全体計画 (2) 病床数と病棟機能</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>病棟機能</th> <th>現状</th> <th>計画</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期病床 (集中治療室)</td> <td>6床</td> <td>6床</td> <td>現状維持(2:1看護)1病棟</td> </tr> <tr> <td>急性期病床</td> <td>311床</td> <td>250床</td> <td>50床(10:1看護)5病棟</td> </tr> <tr> <td>回復期病床 (地域包括ケア)</td> <td>59床</td> <td>30床</td> <td>(13:1看護)1病棟</td> </tr> <tr> <td>回復期病床 (回復期リハビリ)</td> <td>—</td> <td>30床</td> <td>新設(13:1看護)1病棟</td> </tr> <tr> <td>感染症病床</td> <td>4床</td> <td>4床</td> <td>現状維持(必要時に稼働)</td> </tr> <tr> <td>救急外来病床</td> <td>—</td> <td>6床</td> <td>新規設置(2:1看護)1病棟</td> </tr> <tr> <td>上記病床小計</td> <td>380床</td> <td>326床</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存 精神病床</td> <td>54床</td> <td>54床</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>病床合計</td> <td>434床</td> <td>380床</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病棟機能	現状	計画	備考	高度急性期病床 (集中治療室)	6床	6床	現状維持(2:1看護)1病棟	急性期病床	311床	250床	50床(10:1看護)5病棟	回復期病床 (地域包括ケア)	59床	30床	(13:1看護)1病棟	回復期病床 (回復期リハビリ)	—	30床	新設(13:1看護)1病棟	感染症病床	4床	4床	現状維持(必要時に稼働)	救急外来病床	—	6床	新規設置(2:1看護)1病棟	上記病床小計	380床	326床		既存 精神病床	54床	54床	現状維持	病床合計	434床	380床		→	<p>1. 全体計画 (2) 病床数と病棟機能</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>病床</th> <th>現状(稼働)</th> <th>計画</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期病床 (集中治療室)</td> <td>4床</td> <td>6床程度</td> <td>現状維持(2:1看護)1病棟</td> </tr> <tr> <td>急性期病床</td> <td>299床</td> <td>250床程度</td> <td>50床(10:1看護)5病棟</td> </tr> <tr> <td>回復期病床 (地域包括ケア)</td> <td>54床</td> <td>30床程度</td> <td>(13:1看護)1病棟</td> </tr> <tr> <td>回復期病床 (回復期リハビリ)</td> <td>—</td> <td>30床程度</td> <td>新設(13:1看護)1病棟</td> </tr> <tr> <td>感染症病床</td> <td>4床</td> <td>4~10床程度</td> <td>(必要時に稼働)</td> </tr> <tr> <td>総合診療(救急)病床</td> <td>—</td> <td>10~20床程度</td> <td>新設(10:1看護)1病棟</td> </tr> <tr> <td>上記病床小計</td> <td>361床</td> <td>330~346床程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存 精神病床</td> <td>54床</td> <td>54床</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>病床合計</td> <td>415床</td> <td>384~400床程度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病床	現状(稼働)	計画	備考	高度急性期病床 (集中治療室)	4床	6床程度	現状維持(2:1看護)1病棟	急性期病床	299床	250床程度	50床(10:1看護)5病棟	回復期病床 (地域包括ケア)	54床	30床程度	(13:1看護)1病棟	回復期病床 (回復期リハビリ)	—	30床程度	新設(13:1看護)1病棟	感染症病床	4床	4~10床程度	(必要時に稼働)	総合診療(救急)病床	—	10~20床程度	新設(10:1看護)1病棟	上記病床小計	361床	330~346床程度		既存 精神病床	54床	54床	現状維持	病床合計	415床	384~400床程度	
病棟機能	現状	計画	備考																																																																																
高度急性期病床 (集中治療室)	6床	6床	現状維持(2:1看護)1病棟																																																																																
急性期病床	311床	250床	50床(10:1看護)5病棟																																																																																
回復期病床 (地域包括ケア)	59床	30床	(13:1看護)1病棟																																																																																
回復期病床 (回復期リハビリ)	—	30床	新設(13:1看護)1病棟																																																																																
感染症病床	4床	4床	現状維持(必要時に稼働)																																																																																
救急外来病床	—	6床	新規設置(2:1看護)1病棟																																																																																
上記病床小計	380床	326床																																																																																	
既存 精神病床	54床	54床	現状維持																																																																																
病床合計	434床	380床																																																																																	
病床	現状(稼働)	計画	備考																																																																																
高度急性期病床 (集中治療室)	4床	6床程度	現状維持(2:1看護)1病棟																																																																																
急性期病床	299床	250床程度	50床(10:1看護)5病棟																																																																																
回復期病床 (地域包括ケア)	54床	30床程度	(13:1看護)1病棟																																																																																
回復期病床 (回復期リハビリ)	—	30床程度	新設(13:1看護)1病棟																																																																																
感染症病床	4床	4~10床程度	(必要時に稼働)																																																																																
総合診療(救急)病床	—	10~20床程度	新設(10:1看護)1病棟																																																																																
上記病床小計	361床	330~346床程度																																																																																	
既存 精神病床	54床	54床	現状維持																																																																																
病床合計	415床	384~400床程度																																																																																	
33	<p>2. 建設計画 (1) 新病棟想定規模</p> <p>ア 階数：地上6階程度</p> <p>イ 面積：約22,635㎡(渡り廊下含む)程度</p>	→	<p>2. 建設計画 (1) 新病棟想定規模</p> <p>ア 階数：地上6階~7階程度</p> <p>イ 面積：約22,600㎡から最大27,400㎡程度(渡り廊下含む)</p>																																																																																
34	<p>2. 建設計画 (3) 各部門配置計画</p> 	→	<p>2. 建設計画 (3) 各部門配置計画</p> 																																																																																

修 正 一 覧 表

34	<p>2. 建設計画</p> <p>(4) 構造・設備計画</p> <p>ア 構造計画</p> <p>(ア) 建物構造性能の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 免震構造を採用し、設計時において基礎免震等の工法を検討する。 <p>(イ) 耐震安全性の分類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 官庁施設の総合耐震・耐津波計画基準による耐震安全性の分類は以下とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築費構造部材A類 	<p>2. 建設計画</p> <p>(4) 構造・設備計画</p> <p>ア 構造計画</p> <p>(ア) 建物構造性能の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 免震構造を優先的に検討し、設計時において基礎免震等の工法を検討する。 <p>(イ) 耐震安全性の分類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 官庁施設の総合耐震・耐津波計画基準による耐震安全性の分類は以下とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築非構造部材A類
69	<p>3. 部門別施設計画</p> <p>■院内保育所</p> <p>(1) 基本方針</p> <p>ア 子育て世代の多様な生活スタイルの実現に配慮し、職員の働きやすさを整えるため、院内託児所を開設する。</p>	<p>3. 部門別施設計画</p> <p>■院内保育所</p> <p>(1) 基本方針</p> <p>ア 子育て世代の多様な生活スタイルの実現に配慮し、職員の働きやすさを整えるため、院内保育所の開設について検討する。</p>